

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 小児上腕骨顆上骨折の骨折型と神経系合併症の頻度に関する後ろ向き研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 科 職位・氏名 教授 池上博泰

### 【試料・情報の利用目的】

2012年5月1日～2022年12月31日までに東邦大学医療センター大橋病院整形外科において、小児上腕骨顆上骨折に対して骨折観血的整復術を受けた、1～15歳のおよそ40名の方を対象にした後ろ向き研究です。手術後のX線検査の所見を用いて、変形治癒や成長障害との関連の評価をし、カルテ記載より、最終観察時の平均肘関節可動域、神経症状の有無、pucker signの有無、観血的整復の有無、骨癒合期間の情報を収集します。取得した試料・情報は小児上腕骨顆上骨折に対して手術をした患者の骨折型と神経症状発生頻度を明らかにすることを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、小児上腕骨顆上骨折の患者さんの治療成績向上につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年3月より利用を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行いません。

### 【試料・情報の取得方法】

対象者: 2012年5月～2022年12月までに東邦大学医療センター大橋病院整形外科において、上腕骨顆上骨折の診断で骨折観血的手術加療を受けた1～15歳のおよそ40名を対象にデータを使用します。

方 法: 診療録(カルテ)から抽出した診療内容や画像データを解析します。

観察期間は1年間とする。

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院

研究代表者: 池上博泰 役職: 教授

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者:池上博泰 役職:教授

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科学講座 教授 池上博泰

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年4月30日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。また、代諾者(親権者)からも撤回申し出があった場合は対応致します。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科 科

職位・氏名 教授 池上博泰

電話 03-3468-1251 内線 2032